

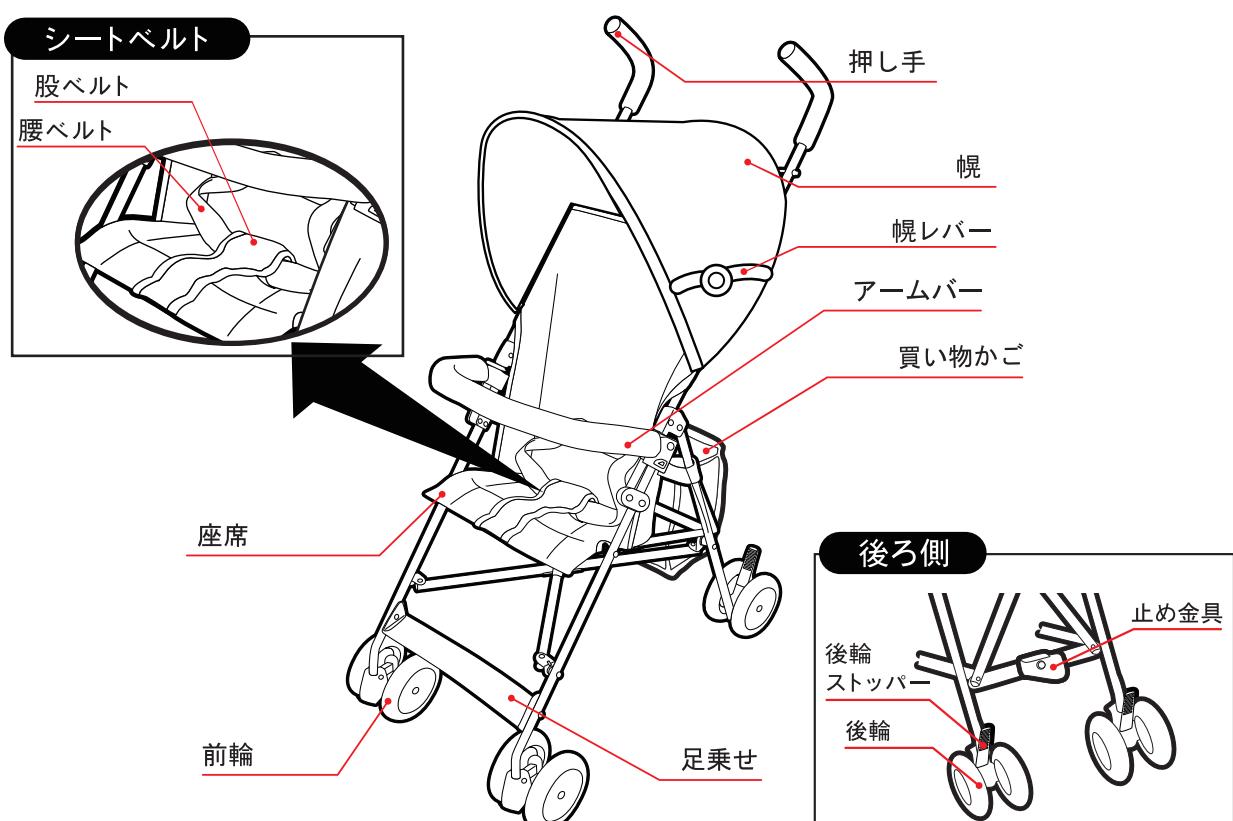
## 【取扱説明書】

このたびは、お買い上げいただきありがとうございます。  
 ご使用の前に、必ず本取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
 また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。  
 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどをわかりやすくするため現物とは多少異なることがあります。  
 本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。

## 使用上の注意

- 思わぬケガの恐れがありますので、バギーの開閉時は乳幼児が本体に触れないようにしてください。
- 7ヶ月以上 24ヶ月頃まで(体重目安12kgまで)の乳幼児に使用してください。  
 連続使用は1時間以内(乳幼児が疲れない範囲)にしてください。
- 必ずシートベルトを装着してから使用して下さい。アームバーのみでのバギーの使用はしないでください。
- 乳幼児を乗せたまま、アームバーを持ってバギーを持ち上げたりしないでください。
- 乳幼児を座席の上に立たせないでください。
- 使用する時は必ず止め金具がかかっているかどうか確認してください。
- 2人以上の乳幼児を同時に乗せたり、座席以外のところに乗せたりしないでください。
- 乳幼児を乗せている際に、押し手等に荷物を乗せたりぶら下げたりしないでください。
- ストッパーは、空車の時には有効ですが、乳幼児や荷物を乗せた時は動く可能性があります。
- 路上に放置する場合、乳幼児を絶対に置き去りにしないでください。
- 空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
- アームバーは乳幼児を固定するための器具ではありません。  
 また、乳幼児の転落を防止するものではありません。
- 乳幼児を乗せたままバギーを持ち上げないでください。
- 買い物かごに重たいものを入れないでください。(加重目安1.5kgまで)

## 各部の名称



## 安全上の注意

### ○記号の説明

この取扱説明書は、製品を安全に使用していただくために特に守っていただきたいことについて、次のマークで表示しています。各マークの意味を十分理解されたうえで使用していただきますようにお願いいたします。



…取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。



…取扱いを誤った場合、軽度の傷害を負ったり、物的損害につながるおそれのあるもの。

### 重　要

…取扱いを誤った場合、製品の故障・損傷・早期寿命などを招くおそれのあるもの。



…してはならない禁止事項。



必ずお読み下さい。

取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

- 本品の分解・組立て・改造は絶対にしないでください。



- バギーに乳幼児を乗せたまま持ち上げて移動しないでください。バランスを崩したり、足元が見えずつまづいたりする危険があります。
- アームバーを持って持ち上げたりしないでください。アームバーが抜けたり、指をはさむおそれがあります。
- 乳幼児を二人以上同時に乗せたり、乳幼児をシート以外のところに乗せたりしないでください。
- 乳幼児や子供にバギーを絶対に操作させないでください。
- 乳幼児を乗せる用途以外では、使用しないでください。
- バギーの開閉時には、乳幼児や子供を周りに近づけないでください。指はさみなどのおそれがあり危険です。

- 必ず、シートベルト(腰ベルト・股ベルト)を締めて使用してください。
- シートベルトを締めた場合でも、乳幼児が立ち上がってしまう場合もありますので、十分にお気をつけください。また、乳幼児がバギーの中で立ち上がらないように、腰ベルトの長さを調節して使用してください。



- 幌に物を載せたり、押し手に荷物を載せたり、吊るしたりしないでください。転倒したり、車体のフレームが破損するおそれがあります。

- バギーの使用時は保護者や介添者は押し手から手を離さないでください。常に乳幼児から目を離さないでください。バギーが走り出したり、転倒するおそれがあります。
- 後輪ストッパーは左右とも確実にかけてください。
- 後輪ストッパーを過信しないでください。  
(構造上、自動車のブレーキのような安全なものではありません。)

## 安全上の注意

### ⚠ 警告

必ずお読み下さい。  
取扱いを誤ると重大な事故につながりますので必ずお守りください。

- 長期間使用を繰り返すことにより、各部が消耗劣化するおそれがありますので、ご使用前にシートベルトや各フレーム、車輪などの各部に異常がないかをご確認ください。
- 使用中に車輪など、各部から軋み音が発生したり、車輪の回転が重たくなった場合は、ただちに使用を中断し、各部に異常がないか点検してください。



- 保護者や介添者が、バギーに腰掛けたり寄りかかるたり、また、過度の荷重をかけないでください。バギーの破損や突然の移動によるケガの原因となります。
- 前輪を持ち上げた状態で走行しないでください。フレームの曲がりや折れの原因になり大変危険です。
- 過激な荷重や衝撃を加えないでください。
- 破損・異常を発見した場合は直ちに使用をおやめください。
- 電車乗降時のドアはさみに注意してください。
- 階段・エスカレーター・段差のあるところでは使用しないでください。転倒や破損によりケガをするおそれがあります。
- ぬかるみや砂地などの悪路では使用しないでください。転倒や車輪が異常音を発したり、動きが悪くなるおそれがあります。
- 踏切では、線路に車輪がとられないように注意して渡ってください。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- バギーは空車であっても坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
- 火気や熱源の近くに放置したり、炎天下の車内やトランクに放置しないでください。バギーが高温となり、火傷したり、変形・変質してケガをするおそれがあります。
- 空港、飛行機内のバギーの取り扱いについてはご利用になる空港、航空会社にお問合せください。

### ⚠ 警告

乳幼児を乗せたまま、  
バギーを持ち上げないでください！！

- 乳幼児が落ちたり、バギーが折りたたまれるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

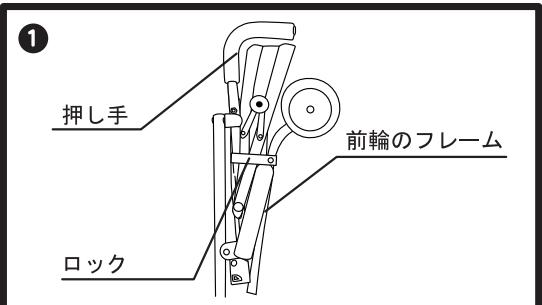
### ⚠ 注意

- 本品を電車などの中では使用しないでください。
- バギーの開閉操作をするときは、指などをはさまないように注意してください。
- 使用前に後輪ストッパーで車輪の回転がロックできることを確認してください。
- 使用前に全体にがたつきや部品の外れなど異常がないことを確認してください。
- 乳幼児を乗せるときや降ろすときは、必ず後輪ストッパーをかけた状態で行ってください。

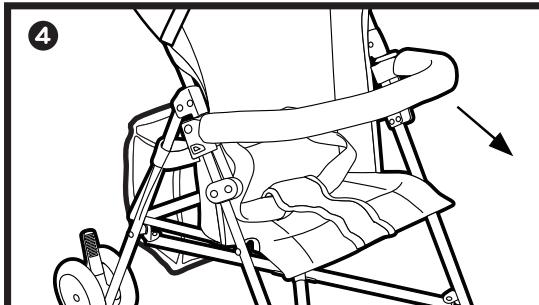
### 重 要

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからないところで保管してください。
- ネジの緩みや部品の消耗、素材の破れや縫い目のほこりびなどがないか、定期的に点検してください。
- 廃棄の際は、お住まいの自治体の定める廃棄方法にそって、廃棄してください。

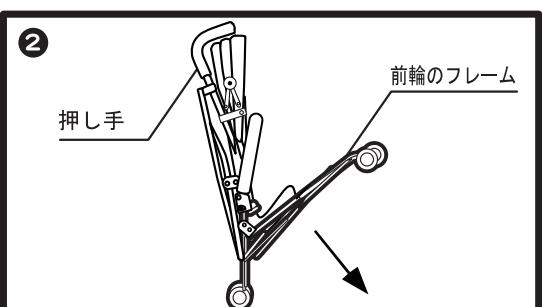
# ベビーバギーの開き方



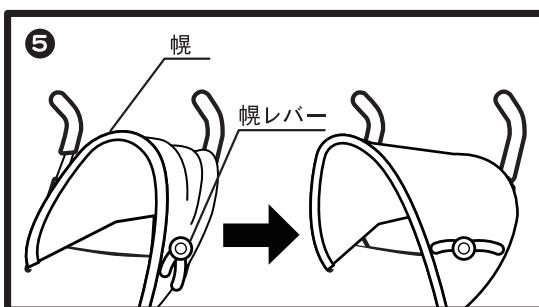
- ① 押し手と前輪のフレームにかかっているロックを外してください。



- ④ アームバーを図のように下がるところまで下げるください。

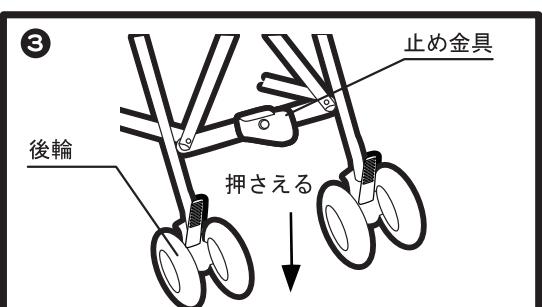


- ② 押し手を持って前輪のフレームを図のように下がるところまで下げるください。

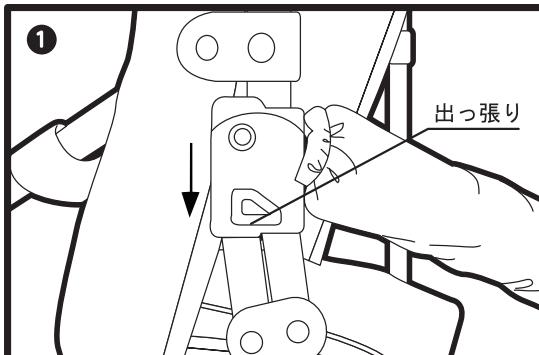


- ⑤ 幌左右の幌レバーを上から押すようにして広げてください。

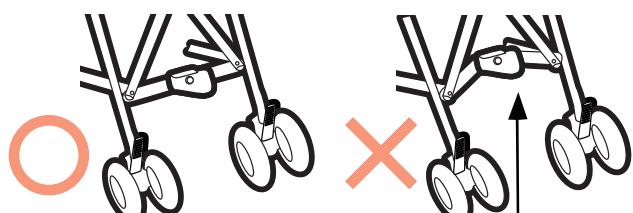
## アームバーの取り付け方



- ③ 後輪側に付いてる止め金具を「カチッ」と音がするまで足で踏んでください。



- ① アームバーの出っ張り部分が下向くなるように方向を確認してから取り付けてください。

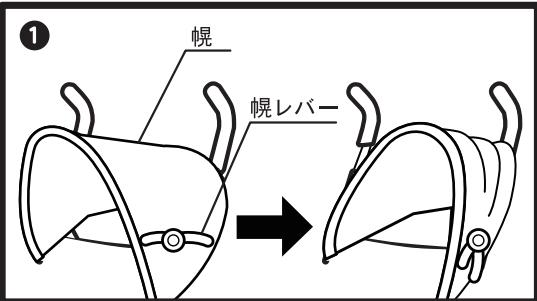


- ② アームバーのピンを前輪フレームの穴に差込み、カチッと音がするまで取付金具をはさみこんでください。

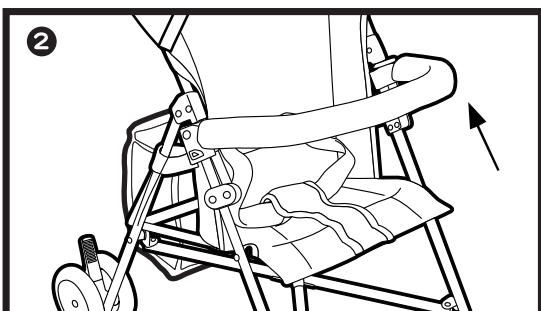
## △警告

- 指はさみの危険がありますので、手で押さえないでください。

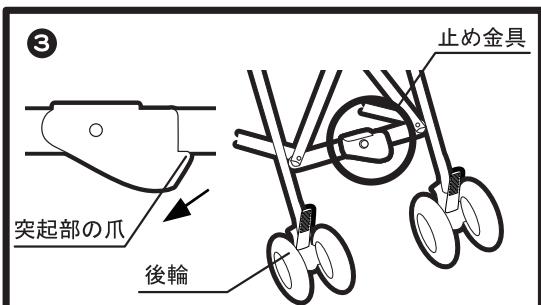
# ベビーバギーの閉じ方



① 幌レバーの間接を折り曲げ、幌を後方にまとめてください。



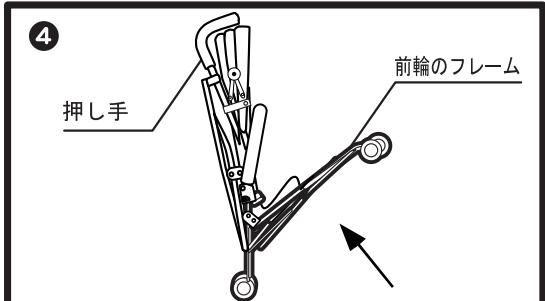
② アームバーを図の位置から上がるところまで上げてください。



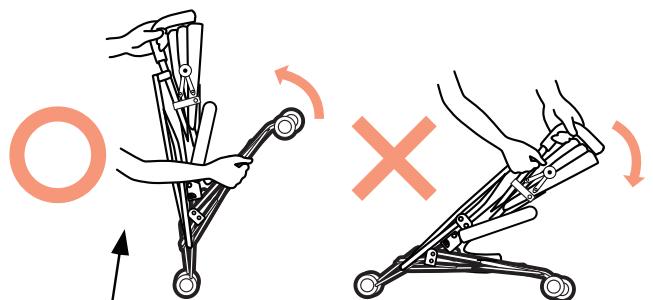
③ 止め金具の突起部の爪を手前に引き、上にあげてください。

## ⚠️ 警告

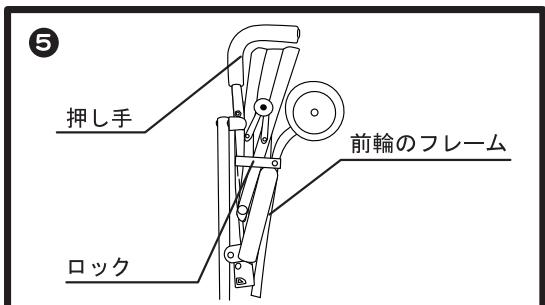
●指はさみの危険がありますので、手で操作しないでください。



④ 前輪を持ち上げて押し手の所まで引き上げてください。その時、フレームなどに手を挟まないように十分注意してください。



片方の手で押し手を持ち、反対の手で前輪フレームを持ち上げます。



⑤ 押し手と前輪のフレームにロックをかけてください。

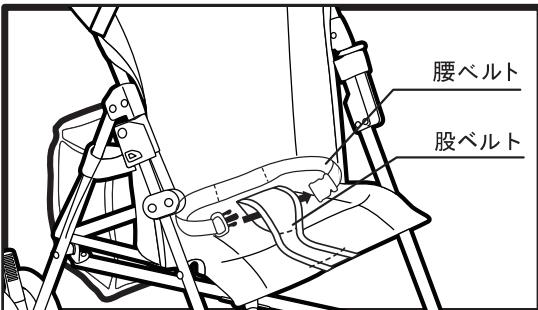
## ⚠️ 警告

●バギーの開閉時には 乳幼児や子供を周りに近づけないでください。  
指はさみなどの恐れがあり危険です。

## 重 要

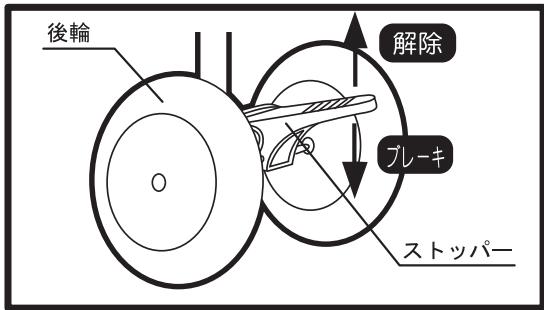
●楽に折りたためないときや、引っかかり、  
挟み込みなどがあるときはいったん開き、  
原因を確認してください。無理に折りたたむと、  
破損する恐れがあります。

## シートベルトの使い方



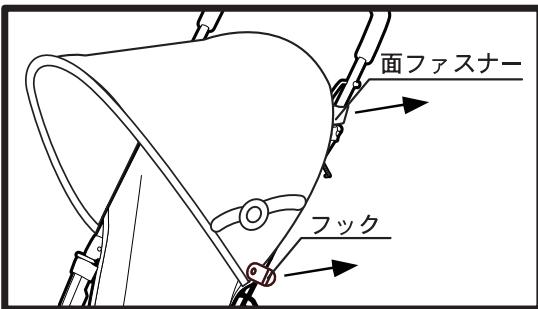
- シートベルトを締める時は図のように股ベルトを通してください。
- 股ベルトを通さないと乳幼児がずれて落下したり、シートベルトが首にかかったりして危険ですので必ず股ベルトに腰ベルトを通してください。

## 後輪ストッパーの使い方



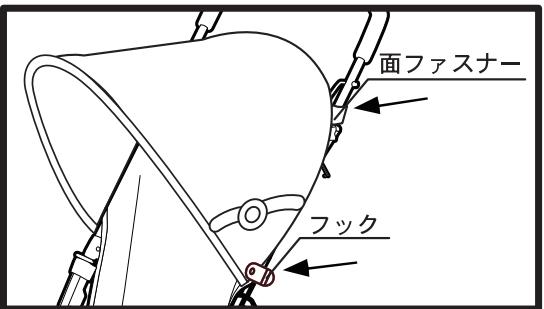
- 後輪のストッパーを足で下げる時後輪がまわらなくなります。解除する時は足先で押し上げてください。

## 幌の取り外し方



- 両側の面ファスナーとフックをフレームから取り外してください。

## 幌の取り付け方



- 両側の面ファスナーをフレームにしっかりと巻き、フックをフレームにカチッと音がするまで挟み込んでください。

## お手入れ方法

### ○車体のお手入れ

- ・車輪についた砂や泥などは、そのまま放置せず、必ず落としてください。  
汚れがひどい場所は、汚れを落としてから水分を十分ふき取ってください。
- ・フレームやプラスチック部品についた汚れは、固く絞ったタオルでふき取ってください。
- ・リベット、ネジのゆるみがないか時々点検してください。ネジのゆるみは、ドライバーでしっかりと締込んでください。リベットのゆるみがある場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・車輪からきしみ音が発生したり、回転が重くなった場合は、汚れをふき取った後、軸部に市販の潤滑油（シリコーンオイル）などを少量注油してください。
- ・シートが汚れた場合は、ブラシやスポンジ等を使用し、40°C以下の液温で軽くふき取るようにして洗ってください。

## Q & A

### ●操作について

Q. 折り畳みが上手くできません。

A. ゆっくりと本体部を畳んで頂き(その際には指はさみに注意してください)、ロックを掛けてください。

ロックが上手く届かない場合には、前輪部分を軽く本体部分に押し付けるようにして頂くと、ロックが掛けやすくなります。

Q. バギーを開いた状態で、固定したいのですが？

A. 後輪部分のストッパーを完全に止まるまで、押し下げてください。

ストッパーを下ろした状態でも、床の形状、車輪の摩擦の関係で動く場合があります。

ストッパーを過信せずに、バギーから手を離さないようにしましょう。

### ●お手入れについて

Q. シートや幌に汚れがありますが、お手入れはどうしたら良いでしょう？

A. ブラシやスポンジ等を使用し、40°C以下の液温で軽くふき取るようにして洗ってください。

洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで、洗剤が残らないように数回ふき取ってください。乾かす時は、乾いた布で水分をふき取り、陰干しをしてください。

※漂白剤や、漂白剤入りの洗剤は使用しないでください。

※製品の特性上、若干色あせ等することがあります。

※保管状態により、カビ等が発生するおそれがあります。こまめにお手入れをして、清潔に保つように心がけてください。

Q. 最近、本体のきしみが気になるのですが？

A. 長時間使用していると、ハンドル操作や開閉時にスムーズに動かなくなることがあります。

本体の細かい隙間に、細かい砂ぼこり等が入ることにより、硬くなってしまうことがあります。その際には、汚れをふきとった後、各部に市販の潤滑油（シリコーンオイル）などを少量注油してください。

Q. 保管場所はどこが良いでしょうか？

A. 直射日光が当たらない場所に保管してください。

車のトランク等は高温になるので、フレームが曲がる場合があります。

長時間保管しないようにしましょう。

### ●その他

Q. 車輪が変形してしまったのですが？

A. 車輪はその材質上、消耗します。

前輪は取り外しが出来ますので交換できますが、後輪は取り外しが出来ません。

後輪の不良の際には、有償交換となりますので、お買い上げの店舗までご相談ください。

Q. 車輪が浮いているのですが？

A. お子様を乗せて安定されましたら、そのままご使用して問題ありません。

お子様を乗せた状態でも車輪が浮き、まっすぐ走らない等の不具合がございましたら、お買い上げの店舗まで御連絡ください。

Q. バギーに2人乗っても大丈夫ですか？

A. 転倒、破損の危険性がありますので、絶対におこなわないでください。

販売元 株式会社 **西松屋チェーン**  
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄 266-1

お客様相談窓口フリーダイヤル  
**0120-7-24028**  
携帯・PHS OK  
受付時間10:00~18:00(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)